

東京都 練馬区

精神障害者の支援体制の構築

練馬区では、精神障害者が地域で安心して暮らすことができるよう、多職種による訪問支援（アウトリーチ）事業を実施するとともに、関係機関と連携して住まい、医療、就労、障害福祉サービス等の充実を図り、精神障害者の支援体制の構築を進めます。

1 県又は政令市の基礎情報

練馬区



練馬区は、東京都23区の北西部に位置し、面積は48.08キロ平方メートル、23区の中では5番目の広さである。人口は740,772人で世田谷区に次いで2番目となっている（令和3年6月1日現在）。

基本情報（都道府県等情報）

| | | | | |
|---|----------------------|--------------------|---------|----------|
| 障害保健福祉圏域数（R●年●月時点） | | | | か所 |
| 市町村数（R●年●月時点） | | | | 市町村 |
| 人口（R3年6月時点） | | | 740,772 | 人 |
| 精神科病院の数（R3年6月時点） | | | 3 | 病院 |
| 精神科病床数（R3年6月時点） | | | 976 | 床 |
| 入院精神障害者数 | | 合計 | 559 | 人 |
| （R1年6月時点） | | 3か月未満（%：構成割合） | 0.0 | % |
| | | 3か月以上1年未満（%：構成割合） | 0.0 | % |
| | | 1年以上（%：構成割合） | 559 | 人 |
| | | | 100.0 | % |
| | | うち65歳未満 | 206 | 人 |
| | | うち65歳以上 | 353 | 人 |
| 退院率（R●年●月時点） | | 入院後3か月時点 | | % |
| | | 入院後6か月時点 | | % |
| | | 入院後1年時点 | | % |
| 相談支援事業所数（R3年6月時点） | | 基幹相談支援センター数 | 4 | か所 |
| | | 一般相談支援事業所数 | 5 | か所 |
| | | 特定相談支援事業所数 | 27 | か所 |
| 保健所数（R3年6月時点） | | | 1 | か所 |
| | （自立支援）協議会の開催頻度（R3年度） | （自立支援）協議会の開催頻度 | 2 | 回／年 |
| | | 精神領域に関する議論を行う部会の有無 | 有 | |
| 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R●年●月時点） | | 都道府県 | 有・無 | か所 |
| | | 障害保健福祉圏域 | 有・無 | か所／障害圏域数 |
| | | 市町村 | 有・無 | 1 |

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

・練馬区では、精神障害者が地域の一員として安心して、自分らしい暮らしをすることができるよう、保健、医療、福祉関係者による協議の場を通じて、精神障害者の社会参加、地域理解を促進する。

1 障害者地域自立支援協議会に、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場として専門部会を設置し、地域の課題を共有、検討している。

2 精神保健福祉士を8名配置し、多職種による訪問支援（アウトリーチ）事業の体制を強化した。

3 精神障害者の社会参加と地域理解の促進を図るため、安心して立ち寄れる地域の居場所等について情報集約、情報発信をしていく。

4 長期入院患者等の地域移行を支援するため、退院と地域生活に向けた課題や取組の方向性を検討する。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

- ・「精神保健医療福祉の改革ビジョン」に示された、“入院医療中心から地域生活中心”という政策理念に基づく施策をより強力に推進し、精神障害者の一層の地域移行を地域において具体的な政策手段により実現していくため、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」という新たな政策理念が明記された。
- ・これを受けて、令和元年度に、保健・医療・福祉・介護などの関係機関のメンバーで構成される「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の協議の場である「地域包括ケアシステム・地域移行部会」を設置した。
- ・平成27年度より、医師、保健師に、精神保健福祉士も加えた、多職種による訪問支援（アウトリーチ）事業を開始し、精神疾患の治療中断や未治療者、また措置入院患者等も対象に支援を行っている。令和2年度からは、措置入院患者のうち本人同意のある方に対して退院後支援計画を作成し、切れ目のない支援を行っている。
- ・令和2年度に、区内3精神科病院の長期入院（1年以上）患者の調査を実施した。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和2年度までの成果・効果＞

| 課題解決の達成度を測る指標 | 目標値 (R2年度当初) | 実績値 (R2年度末) | 具体的な成果・効果 |
|----------------------------|-----------------|----------------|---|
| 地域包括ケアシステム・地域移行部会(協議の場)の回数 | 3回 | 3回 | ・現状の課題を関係者間で共有することができた。 ・システム構築に向けて具体的な取組の設定につなげることができた。 |

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ①昭和60年より区内の精神科病院や関係支援機関と地域精神保健関係者連絡会を開催。区内4か所の福祉事務所圏域ごとの年2～3回関係機関との連携を図ってきたため、課題の共有や協働して支援を行う体制ができている。
- ②精神障害者に対して多職種(医師、精神保健福祉士、保健師)による訪問支援(アウトリーチ)事業を実施している。

| 課題 | 課題解決に向けた取組方針 | 課題・方針に対する役割(取組) | |
|---|--|-----------------|-------------------|
| 精神障害者が地域で生活するために、差別を解消するための地域理解の働きかけと、ひきこもりや孤立している精神障害者が社会参加できるよう情報配信が必要である | 支援者向けの講演会の開催と、区民向けリーフレットや当事者向け居場所マップの作成 | 行政 | 準備、運営 |
| | | 医療 | 講師 媒体監修 |
| | | 福祉 | 関係機関と連携 |
| | | その他関係機関・住民等 | |
| 長期入院患者本人と会ったり、生の声を聞いたりしていない。 | 長期入院患者のうち、病院判断で退院可能などの一定要件を満たした患者との面談を行い、ニーズを把握する。 | 行政 | 調査依頼、集計を行い協議の場の設定 |
| | | 医療 | 調査実施。協議の場への参加 |
| | | 福祉 | 課題の共有と協議の場への参加 |
| | | その他関係機関・住民等 | |

| 課題解決の達成度を測る指標 | 現状値 (今年度当初) | 目標値 (令和3年度末) | 見込んでいる成果・効果 |
|----------------------------|----------------|-----------------|-----------------------|
| ① 地域理解促進のためにリーフレットの作成検討・準備 | | | 区民向けリーフレットの内容が確定 |
| ② 長期入院患者の調査の実施、分析 | | | 長期入院患者のニーズを把握し状況を理解する |

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

| 時期(月) | 実施する項目 | 実施する内容 |
|----------|----------------------|--|
| R3年6月～ | 長期入院患者の追加調査、患者との面談等 | 区内3病院の長期入院患者について、状況調査と動態調査を依頼 地域移行を担う基幹型地域生活支援センターに実績調査を依頼 区担当者が病院訪問し患者と面談 地域移行に向けた支援 |
| R3年10月 | 第1回地域包括ケアシステム・地域移行部会 | 長期入院患者の支援にむけて取り組みを検討 地域での暮らしを続ける支援の充実で、居場所の発信など協議 |
| R3年11月 | 支援者向け講演会 | |
| R4年1月～2月 | 第2回地域包括ケアシステム・地域移行部会 | 長期入院患者の支援にむけて取り組みを検討 地域での暮らしを続ける支援の充実で、居場所の発信など協議 |
| ～R4年3月 | 関係機関との連携 | 区内4ブロックの会議、4地域障害者支援センターと社会参加に向けた課題を共有し、情報発信に向けた媒体作成を準備 |
| 通年(年4回) | アウトリーチ事業に関わる人材育成 | 精神保健福祉士の研修、連絡会の開催 |

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の特別に考える必要がある事項について

| 考えられる事項 | 想定される時期(方向性判断の必要性が考えられる時期) | 実施する内容 |
|---|----------------------------|---|
| <p>新型コロナウイルス感染症発生に伴い、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム・地域移行部会の開催中止 ・支援者を対象とした講演会などの中止 | <p>地域の感染状況を考慮して検討</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・書面開催 ・ZOOMなどオンラインの活用 ・開催延期 等 |